

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年進補版Ver.2 (BPI/BEI対応) | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bei(v.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)枚方ロジスティクスセンター新	階数	地上5階
建設地	大阪府枚方市長尾谷町90-1 他9筆	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法22条地域、宅地区	平均居住人員	150 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	事務所、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年7月 予定	評価の実施日	2014年8月5日
敷地面積	10,629 m ²	作成者	浅井謙建築研究所 平川
建築面積	5,266 m ²	確認日	2014年8月6日
延床面積	20,181 m ²	確認者	浅井謙建築研究所 平川



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 91%

③上記+②以外の: 91%

④上記+: 91%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		その他
総合 建物内においては、将来対応に配慮したゆとりある空間を確保するとともに、リサイクル資材や地球温暖化に配慮した材料を積極的に取り入れている。 建物外に関しては、生物環境配慮の保全を考慮した植栽や防犯・光害対策を両立させた照明計画を通して外部環境に配慮し、周辺地域に貢献している。		0
Q1 室内環境 化学汚染物質の使用を控えることで空気環境に配慮した計画としている。	Q2 サービス性能 ゆとりある階高設定・大空間の形状設定・ゆとりある荷重設定により、将来の用途変更及び設備・空間のプランニングにおいても柔軟な対応が図れるようにしている。	Q3 室外環境(敷地内) 生物環境の保全と創出に配慮した外構づくりを行っている。 建物の配置・形状に配慮し、圧迫感の軽減を図っている。
LR1 エネルギー 照明効率の高い器具を採用し、設備システムの効率化を図っている。	LR2 資源・マテリアル 非構造材料にリサイクル資材を採用している。	LR3 敷地外環境 適正な駐車台数を確保している。 建物外壁・外灯・広告塔による周辺への光害の低減を図っている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

【建物概要】	建物名称	(仮称)枚方ロジスティクスセンター新築工事		
	建設地	枚方市長尾谷町1丁目90-1 他9筆		
	用途/区分	工場 事務所		
【評価結果】	CASBEE 総合評価			A
	CO2削減			3
	省エネ対策			3
	みどり・ヒート アイランド対策			3
	エネルギー消費量の報告			報告しない

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目		評価内容	スコア	評価
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.3	3
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体 3.0 住戸・宿泊	3
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.8	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.0	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目		評価内容	スコア	評価
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
その他				
先進的技術の導入		技術の名称	考慮事項	
特に配慮した事項				